

令和7年第9回定例教育委員会会議

- 1 日 時 令和7年9月30日（火）
午後1時30分～午後2時25分
- 2 場 所 中央図書館2階 視聴覚ホール
- 3 出席者 教育長 山口 武士
教育長職務代理者 宮 陽 一
委 員 深井 美千代
委 員 深野 はるみ
委 員 杜多 堯慶
- 4 署名委員 教育長職務代理者 宮 陽 一
- 5 説明職員 教育部長 下田 恭裕
学校統括監 武田 圭介
教育政策課長 神 谷 智
生涯学習課長 岡 義 朗
学校教育課長 鳥山 裕貴
小中学校連携教育推進担当課長 山 形 悟
教育相談室長 関崎 純也
鶴瀬公民館長 高見 淳也
南畑公民館長 落合 一志
水谷公民館長 深瀬 尊史
水谷東公民館長 中田 正義
水子貝塚資料館長 堀 善 之
学校給食センター所長 中嶋 泰裕
- 6 事務局職員 教育政策課副課長 林 友 幸
教育政策課主事 鈴木 美南
- 7 傍 聴 者 0名
- 8 議題及び議事の概要
日程第一 議事事項

議案第22号 令和8年度当初教職員人事異動方針・細部事項について
〔顛末〕原案のとおり議決した

日程第二 報告事項

- (1) 全国学力・学習状況調査の結果について
- (2) 埼玉県学力・学習状況調査の結果について
- (3) 令和7年度いじめのない学校づくり子ども会議の報告について
- (4) 令和7年度イングリッシュサマーキャンプ及び英検補助金の取組状況について
- (5) 第3回小学生ロボコン・富士見市大会について
- (6) その他
 - ・社会科展の開催について

会議の進行状況

開会

山口教育長 開会宣言（午後 1 時 3 0 分）
事務局 前回の会議録の朗読
山口教育長 署名委員に宮教育長職務代理者を選任します。

日程第一 議事事項

議案第 2 2 号 令和 8 年度当初教職員人事異動方針・細部事項について

資料に基づき、学校統括監及び小中学校連携教育推進担当課長が説明を行った。
以下、質疑。

深野委員 小・中・特別支援学校間の異動は、小・中・特別支援学校の教員免許を全て有している者に限られるのでしょうか。

小中学校連携教育推進担当課長

小・中・特別支援学校間の異動にはそれぞれの教員免許が必要です。

学校統括監 中学校の教員免許を有していれば、学級を担当せず特定教科の授業のみ担当する専科教員として小学校に異動する場合もあります。

学校教育課長 小学校の教員免許を有していれば特別支援学校の小学部に、中学校の教員免許を有していれば特別支援学校の中学部に異動ができます。また、特別支援学校の教員免許を有していれば、特別支援学校の小学部・中学部・高等部のいずれにも異動ができます。

杜多委員 令和 7 年度は退職勧奨の制度を残したまま、勧奨は原則行わないとしていますが、どのような理由からでしょうか。また、過去にはどのくらい退職勧奨による退職者がいたのでしょうか。

小中学校連携教育推進担当課長

退職勧奨制度を活用し人材の新陳代謝を図ってきましたが、現在は教員のなり手が不足している状況です。そのため令和 7 年度は退職勧奨は行いませんが今後状況が変わることも考えられるため、制度を廃止するものではありません。県内では、平成 1 8 年度は約 4 0 0 名の勧奨による退職者がいましたが、昨年度は 5 3 名に減少しています。また、近年は教員の確保のため、退職をした教員を臨時的任用教員として採用するケースも増えています。

宮委員 退職後に再任用を行う場合、当面の間は退職時の勤務校を所管する教育委員会管内に配置を原則としています。当面の間とはどのくらいの期間を示しているのでしょうか。

小中学校連携教育推進担当課長

明確な定めはありませんが、少なくとも1年間はそのような配置を行います。

日程第二 報告事項

(1) 全国学力・学習状況調査の結果について

資料に基づき、学校教育課長が説明を行った。

以下、質疑。

宮委員 小学校では先生が児童の良いところを認めていると回答した割合は全国平均より高く、困りごとや不安を先生や大人にいつでも相談できると回答した割合は全国平均より低くなっています。中学校ではどのような調査結果だったのでしょうか。

学校教育課長 中学校においても、同様の状況です。今後、児童生徒が気軽に相談できるよう対策を強化します。

杜多委員 小学校では無回答率が全国平均よりも高い状況が続いています。リーディングスキルの向上が必要ではないかと考察していますが、どのような対策を考えているのでしょうか。

学校教育課長 問題文を正確に読み取る力がつくように指導方法の工夫を続けています。全国平均との差は少しずつ縮小しているので、引き続き指導方法の研究に取り組みます。

杜多委員 I C T機器を活用したと実感している児童生徒の割合が、全国平均よりも低い結果になっていますが、どのような対策を考えているのでしょうか。

学校教育課長 特に中学校において、I C T機器の活用が進んでいないことが課題となっています。タブレットを効果的に活用した授業の工夫など各校の取組を共有し、活用の促進に努めていきます。

宮委員 言葉の特徴や使い方に関する事項の正答率が小学校と中学校ともに全国平均を下回っています。これは小学生の時に受検した結果と中学生の時に受検した結果が変化していないということでしょうか。

学校教育課長 全国学力・学習状況調査は調査年度の小学6年生と中学3年生を対象に実施しています。そのためこの調査では、小学生だった子が中学生になったときの学力の変化は確認できません。

(2) 埼玉県学力・学習状況調査の結果について

資料に基づき、学校教育課長が説明を行った。

以下、質疑。

- 深井委員 小学5年生と中学3年生の算数・数学の平均正答率が埼玉県 averages より高いのは学習支援事業の成果が表れたということでしょうか。
- 学校教育課長 埼玉県学力・学習状況調査は、学習支援事業よりも早い時期に実施しているため関連を確認することはできません。個人別の正答率は比較ができるので、今後分析を行います。
- 杜多委員 「先生は相談にのってくれた」に対する肯定的な回答の割合が、埼玉県の平均よりも低い結果になっています。子どもたちが、気軽に教員に相談できる環境づくりについて考えていく必要があると思います。

(3) 令和7年度いじめのない学校づくり子ども会議の報告について

資料に基づき、学校教育課長が説明を行った。

以下、質疑。

- 宮委員 令和6年度はリモートで開催しました。令和7年度は一つの会場に集合して開催したことで、他のグループの声も聞こえる中で会議ができ、互いの刺激にもなり非常によかったと思います。

(4) 令和7年度イングリッシュサマーキャンプ及び英検補助金の取組状況について

資料に基づき、学校教育課長が説明を行った。

特段の質疑なし。

(5) 第3回小学生ロボコン・富士見市大会について

資料に基づき、学校教育課長が説明を行った。

特段の質疑なし。

(6) その他

- ・社会科展の開催について

資料に基づき、水子貝塚資料館長が説明を行った。

特段の質疑なし。

閉会

山口教育長 閉会宣言（午後2時25分）